

医療の質・安全学会誌 第3巻第1号 目次

【医療安全全国共同行動】

医療安全全国共同行動に寄せて.....	5
---------------------	---

高久 史磨

医療の質・安全学会理事長

「いのちをまもるパートナーズ・キャンペーン」に寄せて.....	6
---------------------------------	---

山本 修三

日本病院団体協議会議長

ご挨拶.....	7
----------	---

唐澤 祥人

日本医師会会長

医療安全全国共同行動開始に寄せて.....	8
-----------------------	---

久常 節子

日本看護協会会長

医療安全全国共同行動の発足にあたって.....	9
-------------------------	---

川崎 忠行

日本臨床工学技士会会長

医療安全全国共同行動の提案.....	10
--------------------	----

医療安全全国共同行動の実施計画について.....	12
--------------------------	----

成果を上げていこう！ そして成果を示していこう！

～次なるステップとしての医療安全全国共同行動～.....	17
------------------------------	----

鮎澤 純子

九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座

海外論文の紹介.....	19
--------------	----

徳田 安春

聖ルカ・ライフサイエンス研究所臨床疫学センター

医療が変わる！ 医療安全全国共同行動キックオフ・フォーラム.....	22
------------------------------------	----

【総説】

エラー管理訓練の動向と課題.....	23
--------------------	----

中原るり子

東邦大学医学部看護学科

医療の質の保証に資する「プロフェッションの自律」の 制度化に関する研究	29
野村 英樹 金沢大学附属病院総合診療部・総合診療内科准教授	
Rapid Response System (RRS)とは?	33
内野 滋彦 東京慈恵会医科大学 麻酔科 集中治療部	
Rapid Response Systems and cultural bias	38
Joshua L. Jacobs MD ^{1) 2)} Kenichiro Taneda MD, MPH ³⁾	
1) Visiting Researcher, St. Luke's Life Science Institute, Tokyo, Japan 2) Associate Professor, John A. Burns School of Medicine, University of Hawaii, USA 3) Chief, Office of Safety Science, National Institute of Public Health, Saitama, Japan	
医療安全の向上のために、「患者・市民の医療参加」の推進	43
山内 桂子 医療の質・安全学会パートナーシッププログラム代表	
【新着情報】	
米国100k/5 MキャンペーンのNodeとMentor病院の役割	47
遠藤 英樹 ¹⁾ 上原 鳴夫 ²⁾ 1) 国立国際医療センター 2) 東北大学大学院医学系研究科	
新しく導入される産科医療補償制度について	51
後 信 財団法人日本医療機能評価機構医療事故防止事業部 部長 産科医療補償制度運営部 技監 (併任)	
医療安全国際分類 (ICPS) の開発プロジェクト	56
種田憲一郎 国立保健医療科学院 政策科学部 安全科学室長	
行政処分を受けた看護師等に対する再教育の動向について	58
嶋森 好子 慶應義塾大学看護医療学部 教授	
【資料編】	
今後の医療安全対策について	59
IHI (Institute for Healthcare Improvement)からの参考資料	71
シリーズ・緊急対応手技「アナフィラキシー」	77

医療の質・安全学会会則	87
医療の質・安全学会 役員および評議員	91
医療の質・安全学会 入会のご案内	92
「医療の質・安全学会誌」投稿規定	95
「医療の質・安全学会誌」定期購読のご案内	103